

【議事】定32

(1) M- ロケット7号機の打上げ準備状況について

報告に先立ち井口委員長から発言があった

井口：H- A 打上げ成功おめでとうございます。ところで何か報告する特別なことはありませんでしたか。

河内山：打上げは一日遅れ 11 日の 13 時 35 分であった。遅れの原因は雷のためで、一日遅れで無事に打上げられたのは打上げ班、管制班、その他各班が適切に対処したことによる。その点で、大変大きな成功だといえる。

JAXA の河内山理事が、資料 32-1 (M- の打上げ準備) を説明した後、井口委員長から H- A に関する質問があった。

井口：H- A のことであるが、MHI への完全移管を来年に控えている。先日 で取締役にお会いし、10 号機では不具合が無くて良かったと言ったところ、「少なくなり方が遅過ぎる。」とおっしゃっていた。大変しっかりと受け止めてくださることを心強く思った。

河内山：移管に備えて万全を尽くしている。(もっと細かい点を話していたが、メモできなかった。)

M- の打上げオペレーションと、H- A の打上げオペレーションには沢山の相違点があり、JAXA の旧 NASDA の方々は、それを実際に体験しながら大きな収穫を感じていることと思われる。そのような体験談を旧 NASDA の河内山理事の口から聞くことは、宇宙開発委員にとっても有意義なことではなからう

か。統合から大分経っており、小職が傍聴していなかった 2 年間にそのような話があったのであれば良いが、どうのそのようには思われない。

M- の打上げ準備の話をしに来て、H- A のことばかり質問されたら、小職であれば不満を感じる。